



住宅新報

倉庫リノベーション

⑧ ここがポイント!

サーキュラー・エコノミー宣言



出村亜希子氏

私のバックグラウンドには、新卒で入社し4年余り勤めた建設会社がありま

サービスは、画期的で社会的な意義があると感じ、私も熱心に取り組んできました。CMは品質を保ちながらコストダウンを図るもので、手法の一つにはVE(バリューエンジニアリング)と

いて、予算に合わせるためコストダウンや残置物の利活用で知恵を絞ることが、無駄を減らしコストを抑えることにつながり、結果としてサステナブルな消費に

ベーションは広く認知されるようになり、倉庫リノベーション風の新築も出てきていますが、倉庫会社をルーツとし、歴史を重ねたオリジナルの倉庫にアイデンティティを持つ当社は、

人口減少社会を迎え、スクラップ&ビルドによる建築優先の時代ではなくなるなか、建築費のコストダウンという価値を提供する

一方、現在手掛ける倉庫リノベーション「スクラップ&ビルド」から「キープ&メインテイン」という考えのもと、築古の物件を

そのための取り組みからさらに一歩踏み込み、よりアクティブな実践を通して、環境に配慮した社会的意義のある建築サービスを深めていきたいと思

倉庫リノベーションにお

サーキュラー・エコノミーに

そのためにはまず私たち

※てむら・あきこ 富山県出身。奈良女子大学大学院修了。一級建築士、宅地建物取引士。15年より㈱イソーコ総合研究所代表取締役。著書に「築古「ビル」倉庫」のリノベーション・コンパニ

倉庫愛ある建築

インダストリアルなりん

ション計画実務資料集」(総合ユニコム株・共著)